



①檀溪跡	②五軒家神社	③南山学園ライネルス館	④南山教会	⑤隼人池公園	⑥宝珠院	⑦センバツ発祥の地
北から流れる山崎川がこのあたりで大きく湾曲しています。檀溪は、江戸時代の「尾張名所図会」にも景勝地として紹介されており、檀溪橋のたもとには「檀溪之勝蹟」の碑が建っています。桜の名所としても有名です。	五軒家という地名は、この付近に5軒の家があったことから付けられたそうです。狛犬の代わりにライオンが置かれていることが特徴です。	国の登録有形文化財です。学園創立時の本館で、名称は創設者の名に因んだものです。玄関ポーチの円柱と屋上の三角形の切り込みが特徴です。ライネルス館と南山教会の間の道は、春になると八重桜が見事に咲きます。	南山学園の職員のための聖堂として建立されました。ミサやキリスト教の講座が開かれたりしています。結婚式を挙げることもできます。	その名は、元々農業用かんがい池として、犬山城主の成瀬隼人正によってつくられたことによるものです。池の周囲の桜並木が有名です。	境内に残された2本の名木イヌナシ(別名: マメナシ)は市の天然記念物に指定されています。お寺の外から見るができます。	毎年甲子園で開催されている春の選抜高校野球の第1回大会は、かつてここにあった山本(八事)球場で開催されました。名古屋で最初の本格的な球場でした。現在はモニュメントが建っており、歴代優勝校の名が刻まれています。
⑧桜誓願寺	⑩西光院	⑪妙見山浄昇寺	⑫香積院、⑬香積院浄業庵	⑭伊勝八幡宮	⑮福聚山寶珠院	
織田信長の頃、比叡山で修行を終えた上人が清州城下に建てました。現地には戦時中に移転しました。上人が比叡山から持参された桜を境内に植えたことが名の由来です。桜とともに持参されたみがり地蔵も安置されています。	清州城内に建てられ、現地には戦時中に移転しました。朱色の山門は織田信長が寄進したものと伝えられており、赤門寺と称されています。	「川名の妙見さん」とも言われています。摂津国能勢の妙見山から妙見大菩薩の分身を受け、祀ったお寺です。お寺なのに鳥居があり、神仏習合の姿が残っています。境内には、白馬の塑像や名古屋市の木「クスノキ」が見られます。	このお寺には、道元直筆の一葉観音画像が伝えられています。観音堂では、これを元に制作した一葉観音像や、仏の世界を描いた天井画を見ることができます。目の不自由な人のために作られたふれあい観音やしだれ桜も必見です。平成24年7月に完成したばかりの浄業庵には文殊菩薩が安置されています。	境内には狛犬がたくさんありますが、このうち室町時代の作とされる陶製の狛犬は、貴重な文化財として現在は市博物館に保管されています。松を使わない門松も有名です。境内にある伊副神社は平成24年12月に建てられたばかりです。	本堂に延命地蔵、庚申像が、境内には、秋葉社、三十三観音、役の行者像、不動明王像、馬止の観音様、弘法様が祀られています。	